

# 猪の瀬戸湿原便り

第4号

平成21年10月26日 発行：猪の瀬戸湿原再生実験野焼き実行委員会事務局

## 調査区の輪地切り作業実施

由布・鶴見岳の紅葉が見ごろとなった10月25日、当初の計画通り調査区の輪地切り作業を実施しました。

**事前準備：** 9月27日、伊東博光さんから新しく購入した草刈り機の取り扱い方について指導を受け実地練習を行いました。さらに、10月21日（水）、定例の植生調査の時に首藤宏史、後藤利雄、児玉清一郎、渡辺新十郎、井上千鳥、生野喜和人、小田毅の7名でオギ群落、ヨシ群落、ツルヨシ群落の刈り込んではいけない火入れ区と放置区の計6調査区の廻りにロープを張って準備をしました。後藤氏は草刈り機を持参して、河原



石が多くて作業のしにくいツルヨシ群落周辺を刈り込んでくれました。

**作業本番：** 25日は9時30分、城島RVアメリカン駐車場に15名が集まりました。天候が下り模様だったのですぐに猪の瀬戸へ移動。オギ群落、ヨシ群落、ツルヨシ群落の3群落ごとに分かれて作業にかかりました。事前準備がなされていたおかげで、準備した7台の草刈り機で手早く取り掛かることができました。しかし、途中で小雨が降り出し、刈った草は水に浸して燃えにくくするために、水流辺まで運び出しましたが、これが意外に重く運び出し作業は重労働となりました。

### 小雨の中の輪地切り作業

12時をまわって昼食、休憩時間に事務局より経過報を行い、これからの取り組みなどについて意見交換をしました。午後は、全員で刈り取り区内とその周辺の刈り草除去を行い、14時作業を終了しました。本番の参加者は生野喜和人、川野弘人、児玉清一郎、竹井之、後藤勝彦、池田滝子、井上隆喜、井上千鳥、岩尾淳子、古代英四郎、中村茂、内田桂、内谷和則、渡辺忠義、小田毅の15名でした。お疲れさまでした。もう少し参加が多いとよかったという反省をしています。次回は来年2月28日（日）に火入れ作業を予定しています。できるだけ多くの方々の参加をお願いします。

## 公益信託自然保護ボランティアファンドより活動助成金

25日に参加いただいた皆様にはお知らせいたしましたが、会員のカンパで歩み出した本会の活動に対して、(財法)自然公園財団を通じて上記ファンドより、25万円の活動助成金をいただきました。貴重な財源として本会の活動に必要なジェットシューター（消火器）や草刈り機の購入資金の一部に充たしたいと考えております。なお、この助成は単年度助成ですので、来年度の活動に対しては、また皆様のお知恵を借りたいと思います。